

忘れてはイケナイ物語り オキナワ（2001）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 38分
初公開日 2002/08/03
公開情報 ガムブーツ

【キャッチコピー】
生きよ、そして記憶せよ。

【解説】
アニメ「火垂るの墓」の原作者でもある野坂昭如30年ぶりの戦争童話集『ウミガメと少年』を映画化。イラストレーター・黒田征太郎と沖縄のミュージシャン・喜納昌吉による力強い絵と音楽を織り交ぜて作り上げた。第2次世界大戦で唯一地上戦を体験した沖縄の痕跡を、決して忘れることなく語り継いでいくことで、真の平和の意味を問い直す渾身の一作。
昭和20年6月、少年・哲夫は沖縄での凄まじい戦闘で祖父母を失い、一人自然壕に逃れていた。米軍に攻撃を受ける中、浜辺に産卵するアオウミガメを発見した哲夫は、カメの卵が迫撃の犠牲にならないように掘り返す。何とかふ化させようとする哲夫だったが、飢えの苦しみから卵を食べてしまう。2ヵ月後、昭和20年8月15日。アオウミガメが再び島を目指して泳いでくる。その時、島の方から産まれたばかりの小さなカメが泳いできた。その小さなカメは、まるで哲夫の生まれ変わりにも見えるのだった…。

【クレジット】
監督 御法川修
エグゼクティブプロデューサー 長友啓典
永用万人
プロデューサー 黒田征太郎
原作 野坂昭如（作／『戦争童話集 沖縄篇 ウミガメと少年』（講談社刊））
黒田征太郎（絵／『戦争童話集 沖縄篇 ウミガメと少年』（講談社刊））
撮影 芦澤明子
音楽 喜納昌吉
語り 松田美由紀
制作プロダクション 伝達社
アニメーション撮影 森下成一